

# ◆◆◆ 海外派遣の記録 ◆◆◆

☆2010 (H22)  
20周年記念事業／韓国派遣  
《LAZOS KOGA》



☆2009 (H21)  
ワールドマスターズゲームス  
／オーストラリア派遣  
《東京ベイFC40》

☆2002 (H14)  
ワールドマスターズゲームス  
／オーストラリア派遣  
《古河壮年サッカー愛好会》



☆1998 (H10)  
ワールドマスターズゲームス  
／アメリカ派遣  
《宮城菟エクラブ》

☆1994 (H6)  
ワールドマスターズゲームス  
／オーストラリア派遣  
《横浜シニア》



## 第20回記念 古河市マスターズサッカー大会 韓国派遣スケジュール

期 日 平成22年7月10日(土)～12日(月) 2泊3日  
 開催地 韓国 ソウル  
 派遣チーム LAZOS KOGA FC(50歳以上)

日付	時間	場所	内容	ホテル食事
7/10 (土)	4:30	古河体育館集合	マイクロバスにて	朝 × (各自)  昼 × (各自)  夜 × (各自)
	4:45	古河体育館出発	荷物の積込等	
	7:30	成田空港到着	搭乗手続き等	
	9:25	成田空港出発	大韓航空KE706	
	11:50	仁川空港着 ソウルへ	専用バスにて ⇒	
	16:00	ハミルトンホテル着 (イテウオン)	フリー	
7/11 (日)	8:30	ホテル発 会場へ	専用バスにて会場へ	朝 ○ (ホテル)
	10:00	試合会場	古河 vs ハンマウム 0-1	昼 ○ ※弁当
	11:00		古河 vs ペンス ×0-1	
	12:00		昼食	
			古河 vs ハンマウム ×0-4	夜 ○ ※懇親会
	13:30	古河 vs ペンス Δ0-0		
	15:30	終了後ホテルへ	専用バスにて	
18:00	夕食会場	日韓交流会		
21:00		終了後 フリー		
7/12 (月)	9:00	ホテル発 明洞へ	専用バスにて明洞へ	朝 ○ (ホテル) 昼 ×  夜 × 機内食
	～15:30		フリー	
	16:30	仁川空港集合	搭乗手続き等	
	18:45	仁川空港発	大韓航空KE705	
	20:55	成田空港着	マイクロバスにて	
	0:00	古河体育館着	解散	

旅行会社 近畿日本ツアーリスト



☆☆☆ 第20回記念大会 韓国派遣 写真で振り返る ☆☆☆  
 2010. 7. 10~12 韓国ソウル 派遣チーム：LAZOS KOGA FC



交流試合会場の「歓迎垂れ幕」前にて



挨拶と記念撮影 左より小林監督・小林団長  
 ハンマウムチーム代表・得丸代表・ベンスチーム代表



試合前の式典にて総勢100名が参加



小林監督・得丸代表よりボールのプレゼント



ハンマウムチームと記念撮影



ベンスチームと記念撮影



日韓交流夜の部



最後はニッポンとテーハミングの大合唱でした

## ワールドマスターズゲームス派遣チーム決定戦実施要項

1. 概要 第13回大会～第19回大会の優勝チームによる決定戦を実施する。  
優勝チームには、主催者より派遣援助金100万円を贈呈する。  
※ワールドマスターズゲームス（サッカー競技）は  
平成21年10月10日（土）～ 18日（日）  
オーストラリア シドニー で開催されます。
2. 主催 財団法人古河市体育協会
3. 主管 古河市サッカー協会
3. 期 日 平成21年7月12日（日）雨天決行  
10時試合開始
4. 会 場 古河市サッカー場
5. 参加チーム 第14・15・18回大会 優勝 LAZOS古河FC（茨城）  
（3チーム） 第17回大会 優勝 DFCドルフィンズ（東京）  
第19回大会 優勝 東京ベイFC0-40（東京）  
【参加辞退 2チーム】  
第13回大会 優勝 高麗サッカークラブ（東京）  
第16回大会 優勝 日立FC40（茨城）
6. 参加資格 チームに登録している選手に限る。  
ワールドマスターズゲームスに参加する意志のあるチーム。  
身分証明書（コピー）を準備願います。
7. 試合方式 3チームによるトーナメント戦とし、試合順は下記のとおりとする。  
☆第1試合（準決勝）  
10:00 DFCドルフィンズ VS 東京ベイFC0-40  
☆第2試合（決勝）  
12:30 第1試合の勝者 VS LAZOS古河FC  
※第1試合勝者チームの意向で最大30分遅らすことができる。  
試合時間は（25-5-25）とし、引き分けの場合、準決勝はPK戦（5名）。決勝は5分ハーフの延長戦、更に決しない場合にはPK戦（5名）で勝者を決定する。  
競技規則は古河市マスターズサッカー大会に準ずる。  
審判は主催者側で行います。
8. 免 責 大会においての傷害事故等の責任は一切負いません。
9. 大会本部 〒306-0012 茨城県古河市旭町二丁目21-4  
財団法人古河市体育協会事務局  
TEL (0280) 31-9900 FAX (0280) 31-9267  
E-mail [satoshi-akiba@koga-taikyo.or.jp](mailto:satoshi-akiba@koga-taikyo.or.jp)



☆☆☆ **ワールドマスターズゲームズ派遣 写真で振り返る** ☆☆☆  
 2009. 10. 9 ~ 15 オーストラリアシドニー 派遣チーム：東京ベイFC



派遣決定戦 7/12 古河サッカー場にて LAZOS KOGA FC vs 東京ベイFC



優勝を決め目録を手にガッツポーズ



現地（シドニー）での集合写真



海外チームとの対戦①



海外チームとの対戦② 体格差がすごいです



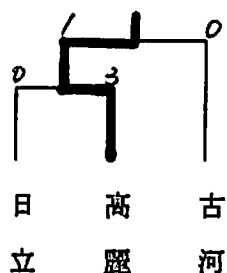
現地での交流も大いに深め、思い出に残る大会となりました



## 世界マスターズ大会派遣チーム決定戦要項

1. 概要 第9回大会から第12回大会の優勝チームによる決定戦を実施する。優勝チームには、主催者より派遣援助金100万円を贈呈する。
2. 主催 古河市 財団法人古河市体育協会
3. 期 日 平成14年6月23日(日) 雨天決行  
10時試合開始
4. 会 場 古河市立サッカー場
5. 参加チーム 第9回大会 優勝 高麗サッカークラブ(東京)  
第10・11回大会 優勝 古河壮年サッカー愛好会(茨城)  
第12回大会 優勝 日立FC40(茨城)

試合方式 4大会(9回～12回大会)のうち、2大会優勝の古河壮年サッカー愛好会をシードとし、3チームによる  
・  
組み合わせ トーナメント戦とする。(25分ハーフ)  
引き分けの場合は、PK戦(5名)で勝者を決定する。  
但し、決勝戦のみ5分ハーフの延長戦を行う。



### 試合順序及び時間

- 第1試合 10:00 日立 VS 高麗  
第2試合 12:00 古河 VS 上記勝者

※審判は協会で行います。

## 世界マスターズ大会概要

### 1. 期 日 (各種競技全体)

平成14年10月 5日(土) ～ 13日(日) 9日間

#### サッカー競技

平成14年10月 7日(月) ～ 12日(土) 6日間

### 2. 大会会場

オーストラリア メルボルン

#### サッカー競技会場

メルボルンから約4km



☆☆☆ ワールドマスターズゲームス 派遣決定戦 写真で振り返る ☆☆☆

2002. 6. 23 古河サッカー場 出場チーム：高麗 SC・古河壮年・日立 FC



派遣援助金100万円の目録



優勝目指して円陣を組む古河壮年



試合に敗れガッカリの日立FC40



惜しくも準優勝…



参加3チームに記念品が贈られました



見事優勝に輝いた『高麗 SC』 が… 残念ながら都合により本大会は辞退となりました



2002. 6. 24

## 古河市マスターズサッカー 県勢、世界大会出場逃す 東京の高麗SCが優勝

古河市の市立サッカー  
場で23日、「古河市マ  
スターズサッカー大会」(古  
河市、市体育協会主催、  
朝日新聞社など後援)の  
過去4年間の優勝チーム

による、世界マスターズ  
大会出場決定戦があり、  
日立FC40と古河壮年サ  
ッカー愛好会Aの2チー  
ムは敗れた。優勝は高麗  
SC(東京)で、10月に  
豪州・メルボルンで開か  
れる同大会に出場する。  
今年の第12回古河市マ  
スターズサッカー大会で  
優勝した日立FC40、10  
・11回大会で2連覇を果  
たした古河壮年サッカー  
愛好会A、9回大会を制  
した高麗SC(東京)の  
3チームが25分ハーフの  
トーナメントで対戦し  
た。1回戦は日立FC40  
が高麗SCに0-3で敗  
れ、決勝は古河壮年サッ  
カー愛好会Aが、高麗S

Cに0-1で敗れた。  
古河壮年サッカー愛好  
会Aは、98年の世界マス  
ターズ大会出場決定戦に  
も出場したが、惜しくも  
敗れている。小川清二監  
督(53)は「前回負けてい  
るので何とか勝ちたいと  
いう気持ちは強かったけ  
ど、チームプレーで相手  
が上だった」と語った。

2002. 10. 8 朝日

## 古河壮年サッカー愛好会 世界マスターズ出場へ

### きょう出発、豪州で4試合

古河市の古河壮年サッ  
カー愛好会が8日、豪州  
・メルボルンで開かれる  
世界マスターズ大会に向  
けて出発する。現地で4  
試合をする予定だ。  
世界マスターズ大会へ  
の派遣をかけた決定戦  
は、6月に同市で開かれ  
た。毎年5月に開かれる

「古河市マスターズサッ  
カー大会」(古河市、市  
体育協会主催、朝日新聞  
社など後援)の過去4年  
間の優勝チームが出場、  
高麗SC(東京)が優勝  
し、派遣援助金として1  
00万円が贈られた。し  
かし、都合により出場を  
辞退したため、準優勝の

古河壮年サッカー愛好会  
が出場することになっ  
た。  
9月28日の壮行会で  
は、選手を代表して斎藤  
満さんが「日本という国  
を代表して、他の国の  
選手たちとの交流を深  
めたい」とあいさつし  
た。



☆☆☆ ワールドマスターズゲームス派遣 写真で振り返る① ☆☆☆  
 2002.10.8 ~ 13 オーストラリアメルボルン 派遣チーム: LAZOS KOGA



派遣壮行会『福祉の森』にて



関係者と選手団での記念撮影



現地空港にて長旅でやや疲れ気味



大会本部にて



会場は医務室も充実してました



移動は乗り放題の路面電車



試合前の記念撮影



審判とも記念撮影

## ワールドマスターズゲームスケジュール

期 日 平成14年10月8日(火)～13日(日) 4泊6日

開催地 オーストラリア メルボルン

派遣チーム 古河壮年サッカー愛好会

日 付	時 間	行 動
10月8日(火)	14:00 17:00～19:00 20:15	市立体育館出発 成田空港着 ⇒ 手続き 搭乗 ⇒ 離陸
10月9日(水)	現地時間 7:30 9:10 10:30 11:00  14:30 15:00 16:30 19:00 21:30	(時差1時間) メルボルン空港着 大会本部着 大会本部発 ホークナーパーク第5グラウンド着 トレーニング バットマンヒルズホテル着 昼食 市内ショッピング 夕食 自由行動
10月10日(木)	9:30 9:45 10:00 14:40 16:00 18:00 21:00	朝食 ホテル発 路面電車乗車 ホークナーパーク第3グラウンド着 ホテル着 市内ショッピング及び昼食(各自) 夕食 自由行動
10月11日(金)	8:30  11:30 12:30 12:45 13:00 15:30 16:15 19:00 20:30 23:00	ロビー集合 クイーンビクトリア/マーケットショッピング 昼食(各自) ホテル発 路面電車乗車 ホークナーパーク第7グラウンド着 タクシーでホテルへ ホテル発 観光 フィリップ島着 夕食 ホテル着
10月12日(土)	10:30  11:00 12:15 13:45 14:15 20:00 21:40	ロビー集合 ホテルチェックアウト 観 光 セントパトリック大聖堂 ファーガソンワイナリー (昼食) デポトリーワイナリー ドメインシャドウワイナリー メルボルン空港発 シドニー空港発
10月13日(日)	6:30 7:00 10:00	成田空港着 成田空港発 市立体育館着



☆☆☆ ワールドマスターズゲームス派遣 写真で振り返る② ☆☆☆  
 2002.10.8 ~ 13 オーストラリアメルボルン 派遣チーム:LAZOS KOGA



対戦チーム① オーストラリア



対戦チーム② ニュージーランド



対戦チーム③ イングランド



全ての試合を怪我なく終え皆でバンザイ



夜の懇親会&反省会 毎晩盛りあがりました



昼の観光とグルメ 異国の地を満喫しました



○ 10月10日(木)

◇1試合目  
ラッツォス古河 2  $\left[ \begin{array}{c} 0-0 \\ 2-0 \end{array} \right]$  0 ニュージーランドのチーム

・メンバー

GK 高橋	DF 宮田	MF 飯塚	FW 針谷
	土肥	成田	中村
	山崎	岩永	
	小川	橋本ま	

(交代) 得丸(山崎)  
橋本み(橋本ま)  
兒島(中村)  
齋藤(兒島)

《戦況》

前日、不戦勝、今日初戦ということで全員気力を高め前半戦に入ったが動きがにぶくパスが思ったように回らず攻撃面での決定機がつかれず。逆にジャッジミスによるオフサイドくずれによって再三相手の攻撃を招くがキーパー高橋とディフェンス陣の好守によりピンチをしのぎ、一進一退のままハーフタイムを迎える。後半の出足も変わらず苦しい展開の中、右コーナーキックを得てキッカー成田が俊輔張りのキックで直接ゴールイン1-0とリードした。勢いにのる古河は岩永からのスルーパスを針谷がゲット更に2-0とリードし、以後古河が有利にゲーム展開し終了した。

◇2試合目  
ラッツォス古河 2  $\left[ \begin{array}{c} 0-0 \\ 2-2 \end{array} \right]$  2 オーストリアのチーム

・メンバー

GK 高橋	DF 宮田	MF 飯塚	FW 針谷
	土肥	成田	中村
	山崎	岩永	
	小川	橋本み	

(交代) 橋本ま(橋本み)  
齋藤(岩永)  
得丸(齋藤)  
兒島(針谷)

《戦況》

今日2戦目、肩の力は抜けたが若干疲れが見え相手は体格、体力、技術もニュージーランドと違い手強くハードな試合となった。中々攻め手が見つからず相手の攻撃が優位でディフェンス陣の体を張った守りにより零点に押さえ前半を終えた。後半に入っても相手の攻撃は続き開始早々に1点を取られ、調子に乗る相手攻撃陣に更に1点を取られ0-2。更に相手の攻撃が続く中、自陣から右サイドを攻め上がりペナルティエリア10m手前岩永からの絶妙なスルーパスを成田が落ち着いてゴール左に流し込み1-2と肉薄した。後半残り5分右サイドから攻め上がった成田からのセンターリングをゴール左サイドに走りこんできた選手交代したばかりの得丸がゴール左隅にヘディングシュートを突き刺す。同点に追いつき間もなく試合は終了した。

○ 10月11日(金)

ラッツォス古河 3  $\left[ \begin{array}{c} 0-1 \\ 3-1 \end{array} \right]$  2 イングランドのチーム

・メンバー

GK 高橋	DF 得丸	MF 飯塚	FW 針谷
	土肥	成田	兒島
	橋本み	岩永	
	小川	橋本ま	

(交代) 宮田(得丸)  
山崎(針谷)  
齋藤(兒島)  
中村(齋藤)

《戦況》

オーストリアでの最終戦である。相手は元イングランド代表を擁し体力、技術力共に高く終始相手ペースの試合となった。再三ディフェンスの裏にスルーパスを出されピンチを招き早い時間に1点先取されたがその後キーパー高橋の勇敢な好セーブとディフェンス陣の頑張りにより0-1で前半戦を終えた。後半もなお相手ペースで更に1点を献上するが、自陣からのカウンター攻撃を再三仕掛け相手陣内左サイドでFKを得た飯塚が約30mの距離から直接シュート、急速にドロップしたボールはキーパーの手をすり抜けゴールイン1点差に追いつく。勢いに乗る古河は再三攻め込み橋本まがドリブルでゴール前に持ち込み混戦の中で貴重な同点ゴール。更に古河は攻め込むが今一步のところ得点にならず残り3分左サイドから攻め上がった成田からのセンターリングをゴール右から走り込んで来た岩永がダイビングヘッドで同点ゴールし、以後相手の強力な攻撃に対してディフェンス陣の必死の守りによって3-2の劇的な逆転勝利を手にした。

(小川記)



世界マスターズサッカー  
 今日から出場決定戦  
 古河で4チーム対戦

45. 6.20  
 茨城

古河市と古河市体育協会  
 は二十、二十一の両日、米  
 国で八月に開かれる世界マ  
 スターズ大会への出場チ  
 ム決定戦(朝日新聞社など  
 後援)を、市立サッカー場

で開く。世界大会への出場  
 チームには、百万円の派遣  
 援助金が贈られる。  
 五月三十日から六月一日  
 にかけて開かれた「古河市  
 マスターズサッカー大会」  
 で優勝したチームが、決定  
 戦への出場を辞退したた  
 め、過去三回の優勝チーム  
 と地元古河市壮年サッカ  
 ー愛好会A(今年三位)が  
 参加して、決定戦が開かれ  
 ることになった。  
 試合は二十五分ハーフの  
 総当たり戦。日程は、20日  
 午後一時 古河―東京北区  
 四十雀FC 午後二時 横  
 浜シニアサッカー―宮城萩  
 エクラブ 21日午前9時  
 古河―横浜▽午前10時 東  
 京―宮城▽正午 古河―宮  
 城▽午後一時 東京―横浜

世界マスターズ大会派遣チーム決定戦要項

1. 概要 第5回大会から第8回大会の優勝チームと地元古河市壮年サッカー愛好会を含めた5チームにより決定戦を実施する。優勝チームには、主催者より派遣援助金100万円を贈呈する。
2. 主催 古河市 財団法人古河市体育協会
3. 期日 平成10年6月20日(土)～6月21日(日)  
 雨天決行  
 【20日(土) 第1試合 13:00開始 21日(日) 第1試合 9:00開始】
4. 会場 市立サッカー場
5. 参加チーム  
 第5回大会 優勝 宮城萩エクラブ(宮城)  
 第6回大会 優勝 東京北区四十雀(東京)  
 第7回大会 優勝 横浜シニアサッカー(神奈川)  
~~第8回大会 優勝 読売SC育成会A(東京)~~  
 地元代表 古河市壮年サッカー愛好会A(茨城)

世界マスターズ大会派遣チーム決定戦 結果表

期日 平成10年 6月20日(土)・21日(日)		会場 古河市立サッカー場					
チーム名	古河壮年	東京北区	横浜シニア	宮城萩工	勝敗	勝点	順位
1 古河市壮年サッカー愛好会	○	○	×	○	○	○	○
		5 (1-0) 4 (4-1) 1	5 (3-0) 2 (2-0) 0	0 (0-0) 0 (0-1) 1	2-1	6	2
2 東京北区四十雀FC	×	○	×	○	○	○	○
	1 (0-1) 1 (1-4) 5		3 (0-0) 3 (3-2) 2	0 (0-1) 0 (0-0) 1	1-2	3	3
3 横浜シニアサッカー	×	×	○	○	○	○	○
	0 (0-3) 0 (0-2) 5	2 (0-0) 2 (2-3) 3		2 (2-1) 2 (0-0) 1	1-2	3	4
4 宮城萩エクラブ	○	○	×	○	○	○	○
	1 (0-0) 1 (1-0) 0 1 (1-0) 0	1 (0-0) 0	1 (1-2) 1 (0-0) 2		2-1	6	1

※ 勝ち点同数の為、決定戦要項(該当チームの勝敗)により順位が決定しております。



# 目標はまず1勝

宮城工高サッカー部OB 萩工ク

## 世界マスターズ初出場

きょう米へ出発

米国オレゴン州ポートランドで十六日開幕するワールドマスターズゲームのサッカー四十歳以上の部に、日本代表として出場する萩工(しゅうこう)クラブが十四日出発する。宮城工高サッカー部OBチームで、橋浦武四監督(左)以下、平均年齢四十七歳のイレブンが、初の国際舞台に張り切っている。

「まず1勝」を目標に、張り切って練習に汗を流す萩工クラブのメンバー＝宮城工高グラウンド

回大会の優勝チームで争われたが、第五回大会優勝の萩工クラブは、2勝1敗で米国行きの切符を手にした。クラブ創立は昭和五十五年。宮城工高OBで結成されている「宮工クラブ」で四十歳以上になった人たちのチームだ。五十代の四人を含む選手二十二人は、仙台市青葉区にある母校のグラウンドで毎週土曜日に練習し、仙台市クラブリーグの三部で活動している。「ほかのクラブの平均年齢は、だいたい四十歳ぎりぎり。やはり体力的にしんどい」と代表でDFの大久保芳雄さん(左)は言った。だが、そこは県高校サッカーの名門出身の選手たち。運動量が落ちる分は長年培った技術でカバー。細かいパス回しからのサイド展開は正確で、守りも堅い。最年長で、昭和三十七年の全国高校選手権で四強入りしたときのメンバー、DFの花坂英昭さん(左)は「長年やっているからチームワークは一流」と胸を張る。

### 世界マスターズ大会概要

#### 1. 期 日 (各種競技全体)

平成10年8月 9日(日)～22日(土) 14日間

#### サッカー競技

平成10年8月16日(日)～22日(土) 7日間

#### 2. 大会会場 (各種競技全体)

米国 オレゴン州 ポートランド市及び周辺地域

#### サッカー競技会場

ポートランド パワーラインズパーク、  
デルタパークサッカーコンプレックス  
ビーバートーン市 トゥアラティンヒルズフィールド

#### 3. 出場資格・登録料・出場記念品

サッカー競技 30才以上 登録料 26,000円(1名)  
出場記念品 ナイキスポーツバック、記念Tシャツ 他

### 宮城萩工が 世界大会へ

マスターズサッカー

茨城県古河市と同市体育協会は二十、二十一両日、同市立サッカー場で、「古河市マスターズサッカー大会」(朝日新聞社など後援)の過去三年間の優勝チームと地元チームによる、世界マスターズ大会派遣をかけた決定戦を開き、宮城萩工クラブが優勝した。八月に米国で開かれる大会に派遣される。

古河市マスターズサッカー大会は、四十歳以上にやる大会で、五月三十日から六月一日、全国の百六十チームが参加して開かれた。今年の優勝チームが日程の都合で出場を辞退したため、一九九五年の優勝チームと、地元古河市社年サッカー愛好会A(今年三位)の四チームが、二十五分ハーフのリーグ戦で戦った。

宮城萩工と古河市社年が二勝一敗、勝ち点6同士で並んだが、萩工は古河を1-0で破っていたため、萩工の勝利が決まった。同チームには派遣援助金百万円が贈られた。世界マスターズ大会は八月九日(サッカーは十六日)から二十二日まで、米国オレゴン州ポートランド市と周辺地域で開かれる。

95. 6. 22. 宮城



☆☆☆ ワールドマスターズゲームズ派遣 写真で振り返る ☆☆☆  
 1998. 8. 16 ~ 22 アメリカポートランド 派遣チーム：宮城萩エクラブ



派遣決定戦優勝。100万円を手に笑顔  
 H10.6/21 古河サッカー場にて



現地にて集合写真①



現地にて集合写真②



現地にて③ 対戦チームと記念撮影



☆☆☆ ワールドマスターズゲームズ派遣 写真で振り返る ☆☆☆  
 1994. 9. 27 ~ 10. 2 オーストラリアブリスベン 派遣チーム：横浜シニア



同行する古河壮年「斎藤一也」前会長



壮行会での小林副会長(左)と直井事務局長



開会式は多くの参加者が集結しました



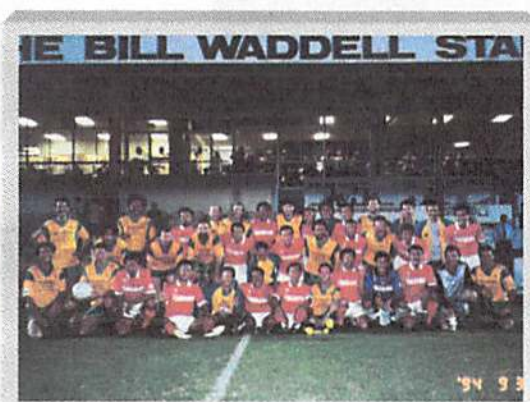
開会式会場をバックに記念撮影



白熱した試合の模様 大いにサッカーを楽しめました



現地にて記念撮影



対戦チームとの記念撮影